

学校感染症一覧表

もしかかったら・・・
学校をお休みして下さい。



下の一覧表にあげた病気は学校において予防すべき感染症といわれ、たとえ軽症でも登校できません。
かかった場合は、学校に届けて、医師の許可があるまで家庭で安静にしてください。
これは法律で定められた『出席停止』で欠席扱いになりません。

○第1種学校感染症 治癒するまで出席停止

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)、中東呼吸器症候群(MARS)、鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9)、**新型コロナウイルス感染症(COVID-19)**

○第2種学校感染症 学齢期に多い感染症、飛沫感染のため学校において流行する可能性が高い感染症

病名	出席停止期間	主な症状	感染経路	潜伏期間	感染期間	予防方法	好発時期
インフルエンザ	発熱後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで	急な発熱、頭痛、筋痛、全身倦怠感、咽頭痛等の呼吸器症状	飛沫接触	平均2日(1~4日)	発熱後3日程度までは感染力が強い	うがい、手洗い、マスク、予防接種(任意)	12~3月
百日咳	特有の咳が消失するまでまたは5日間の適正な抗菌物質製剤による治療が終了するまで	のどの発赤、特有な痙咳	飛沫接触	通常7日10日以内	発熱後28日	予防接種	4~10月
麻疹(はしか)	解熱後3日を経過するまで	高熱、コプリック班、発疹	空気、飛沫接触	8~12日	発病2日前~発疹出現後5日まで	予防接種	2~6月
流行性耳下腺炎(おたふく)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺膨張が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで	耳下腺の腫脹、発熱	飛沫接触	16~18日	発病7日前~発病後9日間	予防接種	冬~春
風疹(3日ばしか)	発疹が消失するまで	バラ紅色の発疹、発熱、リンパ節の腫脹	飛沫接触	16~18日	発疹の出る7日前~後7日間	予防接種	3~7月
水痘(水ぼうそう)	すべての発疹が痂皮化するまで	紅斑→丘疹→水疱→膿疱→痂皮の順に進行する発疹	空気、飛沫接触	14~16日	発疹出現2日前~水疱痂皮化するまで	ワクチン	1~7月 11~12月
咽頭結膜熱(プール熱)	主要症状消退後2日を経過するまで	発熱、咽頭炎、結膜炎	飛沫、接触結膜接触	2~14日	発病後2~3週間	水泳後、流水で洗う。水泳禁止。	7~10月
結核	医師によって感染のおそれがないと認められるまで	肺に病変を起こすことの多い全身性感染症	空気(飛沫核感染)	1~2ヶ月		BCG接種 X線による早期発見	なし
髄膜炎菌性髄膜炎	医師によって感染のおそれがないと認められるまで	高熱、頭痛、嘔吐、頸部硬直 早期の治療が必要	飛沫、接触	主に4日以内		早急な治療、保健所への届け出義務	なし

○第3種学校感染症

病名	出席停止期間	主な症状	感染経路	潜伏期間	感染期間	予防方法	好発時期
腸管出血性大腸菌感染症	症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで	激しい腹痛、下痢、血便	経口	10時間~6日	多くは数日以内	トイレの消毒・手洗い	春~夏
コレラ		下痢、嘔吐、低体温、急速な脱水症状、皮膚の乾燥としわ	経口	数時間~3日	健康保菌者は長期にわたり便中に排菌	手洗い・流行地で生水・生食品等を口にしない	
細菌性赤痢		発熱、腹痛、下痢、嘔吐、吐き気、悪寒	経口	1~3日	発病後1週間前後		
腸チフス		持続する発熱、発疹(バラ菌)、腹痛、関節痛、頭痛、下痢、血便	経口接触	1~2週間			
パラチフス		腸チフスと同じであるが症状が軽い	経口	1~10日			
流行性角結膜炎		涙、目やに、異物感、結膜の充血	接触	2~2週間	発病後2~3週間	水泳禁止・手洗い タオルを共用しない	6~10月
急性出血性結膜炎		充血、出血、眼痛	接触	24~36時間	発病後5~7日間	水泳禁止・手洗い タオルを共用しない	6~10月

○その他の感染症(第3種として扱う場合あり) 必ずしも出席停止を行うべきというものではないが、地域や学校の状態を考慮の上判断する。

- ・感染性胃腸炎(ノロウイルス感染症、ロタウイルス感染症、アデノウイルス感染症など)
- ・サルモネラ感染症(腸チフス、パラチフスの除く)、カンピロバクター感染症
- ・マイコプラズマ感染症
- ・インフルエンザ菌感染症、肺炎球菌感染症
- ・溶連菌感染症(主にA群溶血性連鎖球菌感染症)
- ・伝染性紅斑(りんご病)
- ・手足口病
- ・A、B型肝炎
- ・伝染性軟属腫(水いぼ)
- ・疥癬
- ・単純ヘルペスウイルス感染症
- ・ヘルパンギーナ
- ・RSウイルス感染症
- ・伝染性膿痂疹(とびひ)
- ・EBウイルス感染症
- ・帯状疱疹
- ・アタマジラミ症
- ・皮膚真菌症